



自主防災隊通信 秋号



全戸配布

No.12

R4. 11. 吉日 和合町自主防災隊

令和4年度 防災訓練のお知らせ

11月20日（日） 和合町防災訓練をおこないます。

和合町自主防災隊は震災発生を受け対策本部を浜松市立泉小学校グラウンドに設置し、災害に対する消防活動、情報連絡、消火、避難誘導、救護、物資補給、避難所運営の訓練を行い、その要領を習得するとともに、住民の防災意識の高揚をはかります。

なお、本年度は新型コロナ感染対策のため、泉小学校グラウンドへの避難は、自主防災隊隊員と 指定された町民の方のみとし、一般の皆さまは第一次避難場所まで避難した後、解散、在宅での個別訓練をおこなって頂きます。

防災訓練のテーマ

「わが身を守る、地域を守る防災力」

- ① 自らの命を守るために、取るべき行動の確認(自助)
- ② 地域における協力体制の確認 (共助)

災害の想定

11月20日午前7時57分 南海沖を震源とするマグニチュード9・最大震度7の大地震が発生。市内全域にわたり、家屋の倒壊、停電、通信網の途絶、水道管、ガス管等の破裂が発生。

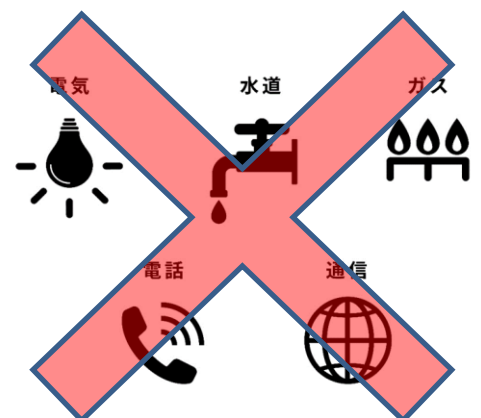


マグニチュード

9

最大震度

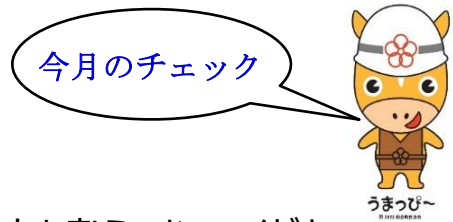
7



一般町民の方々へ

① 防災訓練当日までに各家庭で準備と確認をお願いいたします

- ☑ あなたは和合町の○部○組○班 と言えますか
- ☑ あなたが避難する第一次避難場所はどこですか
- ☑ 和合町民が避難する緊急避難場所はどこですか
- ☑ 災害時の避難経路の確認はできていますか（別のルートも考えておいてください）
- ☑ 非常持ち出し袋の点検はしましたか（個別で持ち出し袋を作るのが望ましいです）
- ☑ 家族での役割分担をきめましたか（だれが、おばあちゃんを助ける？ ペットは？）
- ☑ 災害時の家族の連絡方法をもう一度確認しておきましょう。



防災訓練の開始

1 1月20日午前8時高台協働センター入口にてサイレン吹鳴と同時に、情報班長がハンドマイクを使って災害発生を呼びかけます

② 自分で自分の身を守る訓練（シェイクアウト訓練）を行ってください

1 DROP！（まず姿勢を低く）

訓練開始のサイレンを聞いたら、その場で姿勢を低くします

2 COVER！（頭を守り）

落下物から頭を守るために机やテーブルの下に潜り込みます

3 HOLD ON！（動かない）

姿勢を低くして頭を守ったまま、揺れが収まるまでじっと動かないでいます（1分間）



まず低く

DROP!



頭を守り

COVER!



動かない

HOLD ON!

③ 第一次避難場所に避難しよう

シェイクアウト訓練の後、直ちにガスの元栓を閉め、戸締りをし、第一次避難場所まで避難しましょう。被害の想定を実際に自分達で思い浮かべながら、実践的な避難を行ってください。

非常持ち出し袋を実際に背負って避難するもよし、大事なペットをケージに入れて連れて避難してみるもよし、ベビーカーで赤ちゃんを連れて第一次避難場所まで逃げてみるもよし。それぞれの家庭で、どのような避難訓練をするか予め考えておいてください。実際の災害を想定しての訓練は、必ず役に立ちます。そうすることで、避難におけるそれぞれの問題点が見えてくるはずです。そのあとで、問題点を解決する方法を考えましょう。

④ 第一次避難場所に避難した時にやるべきこと

第一次避難場所には自主防災隊の組長、避難誘導班長、救護班長、消火班長というリーダーがいて、避難者に様々な指示を与えてくれます。

避難者は、ここで、避難所受付チェックシートを受け取り、必要事項を記入して救護班長に提出します。（避難者の健康チェックと人数の把握のため。また、在宅避難を選択した人の把握も、これによって行います。）

第一次避難所には、同じ地域のたくさんの避難者が集まっています。

同じ地域でありながら、初めて会う方もおられるでしょう。

あの方、こんな小さな赤ちゃんがいたんだってということもあるでしょう。

この方、あまりお目にかからないけれど、実は足が悪かったんだと、知ることもあるでしょう

自分の地域に、どんな人がいるのかを知っておくことは、共助（力を合わせて助け合う）

のためには、とても大切なことです



⑤ 在宅避難へ

今年度は一般町民の方々の避難訓練は第一次避難場所までとなります。在宅での避難が可能という想定で、自宅に戻っていただきます。

防災訓練想定はガス、電気、水道、通信等の被害ありとなっています。

その想定の下で、自宅に保管している防災用の食事を食べたり、懐中電灯で過ごしてみたりと、在宅避難の訓練をそれぞれで体験してみてください。

～ 緊急避難場所である泉小学校での訓練について ～

自主防災隊隊員と、指定された町民（民生児童委員、中高生、こども防災教室に参加する小学生及び同行の保護者）が参加します。

災害発生と同時に災害対策本部を泉小学校グラウンドに設置。情報部、救護部、消火部物資部、避難誘導部、避難所運営部が各部ごとに訓練を行います。また、消防第8分団、中消防署富塚出張所による消火訓練、AED 訓練及びスモークトンネルの体験、和合町自主防災隊可搬ポンプ隊による救出訓練、消火訓練。浜松市リハビリテーション病院による血栓予防体操、ボーイスカウトによるテント設営、ロープ結び体験、応急担架の作り方、浜松市による段ボールベッド、仮設トイレ等の組み立て体験等を予定。

